

いのち
生命の水 うるおす未来

アジアネット

JAFS

NEWS & REPORTS 2026年春

165



特集

水害から立ち上がる人々

創設の原点に帰る ボランティア活動



毛利
吉男

アジア協会アジア友の会 (JAFS)
監事

私とアジア協会アジア友の会 (JAFS) との出会いは、十数年前にさかのぼります。JAFS 監事の出口貴之さんとたまたま仕事関係で知り合いました。彼はカンボジアのブンペンで商売していましたが、私も海外出店に興味があったため、ブンペンに同行してもらいました。ほかに私の知らないお二人も、ご一緒でした。現地に着いてから、このお二人は JAFS 創始者の村上公彦さんとスタッフの岡本佳子さんと分かりました。さらに JAFS 会長の篠原勝弘さんを紹介され、食事をご馳走になりました。

お誘いを受けて、翌日は早朝から車に乗り遠方に連れて行かれました。着いたのは田舎の公園のような所で、かなりの人が集まっておられ、皆様が自転車に乗っておられて初めは何か分かりませんでした。カンボジアの公務員のお偉方もお見えになられ、やがて、大阪府の放置自転車を再生し贈る事業の、自転車引き渡しセレモニーと分かりました。

その後3日間ご一緒しましたが、その間に JAFS がボランティア団体と分かりました。そして帰国する時に JAFS 会員に誘われて入会することになりました。私自身の仕事上の目的は何も果たせず、出店の調査もできず帰国いたしました。

私はもともとボランティアに対して心残りがありました。以前フィリピンのセブ島に、ボランティア活動を兼ねて行った時、中国式の昔のお墓で生活している人たちに食事の提供などしました。その中の若い女性に、当時毎月3千円送れば大学に行けるということでしたが、送ることができず心に残ったままでした。翌日はストリートチルドレン支援のボランティア活動に行きました。パンを配ったのですが一人分足りず、ここでも心残りとなり、その子どもの顔を一生忘れられません。

これからのアジア協会アジア友の会は、村上創始者の原点に帰るといいます。現在、日本にも貧困者が増加しています。そして若い人

にもボランティア活動に興味がある方が多くいると思います。今後の JAFS が、どのように貧困者に向き合い活動を進めていくのが課題になると思います。

現在、総務財務委員会に毎月出席し、財務の問題や JAFS の今後などについて討議しています。新規会員の増員を考えていかないと JAFS の存続にもかかってきますので、会員全体で考える問題だと思いません。

JAFS 会員になってもらうためには、今まで通りではなかなか増えないと思います。若い方たちが現在の世界状況を考えた時にすべきことがあるのではと思います。世界は平和であるべきです。互いの国どうし文化や価値観の違いはありますが、平和に向かってアジア全体がまとまり、JAFS が先頭に立って交流や人道支援に力を発揮できるように、微力ながらお手伝いしたいと思います。

もうり・よしお 宮崎県出身。現在、京都府八幡市橋本在住。1975年レストランアラスカ常務。退社後、株式会社カステロを創業。2001年ハマヤフーズサービス株式会社常務など歴任。その後、MHNグローバル事業協同組合を立ち上げ。2016年 JAFS 入会、17年監事に就任。

私たちは、世界の平和と人間の基本的
人権を守るために人々との「友情と信頼」に基づく「理解と協力と連帯」の輪
をアジアと世界に広げます。

かかる目的をもって私たち JAFS
会員は以下のことに努めます。

一、より人間らしい地球社会の創造をめ

ざします。

- 一、アジアと世界の人々の幸せに奉仕します。
- 一、地球の自然環境を大切に守ります。
- 一、生活の無駄を省き、地球資源を大切にします。
- 一、これらの奉仕活動を通して、自分と他人の^{いのち}生命の価値を高めます。

J
A
F
S
会
員
要
項

アジアネット

JAFS NEWS & REPORTS

165

2026年春

● 主な目次 ●

| | |
|---|-------|
| 「巻頭言」 | 02 |
| 創設の原点に帰るボランティア活動 | |
| 特集：水害から立ち上がる人々 | 04～07 |
| 復旧遠いインドネシア被災地／日本からの 井戸役立ったスリランカ | |
| 「井戸ができた村」 | 08・09 |
| 第5回水写真コンテスト入賞作品 | 10・11 |
| 「JAFSプラザ」＝国内の活動 | 12・13 |
| JAFS大阪事務所が移転／事務局ボラン ティア募集／地区会のチャリティで井戸贈 りたい／シンガポールとベトナムから見た | |

| | |
|-------------------------------------|-------|
| これからの日本／ノアノアフエスター心ひ とつにクリスマスパーティ | |
| イベントカレンダー2026年春 | 14・15 |
| 新入会員紹介・領収報告 | 16・17 |
| 日本語ボランティア募集 | 17 |
| 「海外活動ア・ラ・カルト」 | 18 |
| フィリピン・パンダン交流ツアー体験談 | |
| 「環境コラム」 | 19 |
| 入会・寄付ご案内 | 19 |
| 編集後記 | 19 |



JAFS

since 1979

公益社団法人 アジア協会アジア友の会
Japan Asian Association & Asian Friendship Society

アジア協会アジア友の会（JAFS）は、アジア各地に井戸を贈って地域の自立を目指す国際協力NGOです。1972年に大阪の若者によって結成された国際奉仕グループ「エポス・クラブ」が発展し、1979年に大阪で設立されました。誰もが生まれてきて良かったと思える社会を目指し、2025年3月までに、海外で累計2,366基の井戸を建設し、累計261万本の植林をしてきました。子ども教育の支援にも取り組んでいます。全国都道府県認可の社団法人取得第1号です。2012年に、内閣府の認定を受けた公益社団法人になりました。

海外との交流・協力活動は、アジア18カ国（インド、インドネシア、バングラデシュ、タイ、マレーシア、フィリピン、スリランカ、ネパール、韓国、カンボジア、シンガポール、ミャンマー、ラオス、中国、ベトナム、モンゴル、パキスタン、アフガニスタン）、さらに西アフリカのブルキナファソにも広がり、70の現地提携団体を通じ、友情のネットワークが形成されています。日本国内でも、各地でチャリティプログラム、自然環境プログラムや、人材育成、留学生交流など行っています。

本会へのご寄付は、寄付金控除の対象です

JAFSは内閣府より公益社団法人としての認定を受けています。JAFSへの寄付金や会費（社員会費は除く）は、申告によって、所得税、法人税、相続税について税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。

確定申告の際、税額控除、所得控除のいずれか有利な方を選択できます。本会発行の領収書を添付して申告してください。法人税は損金の額に算入することができます。相続税は最寄りの税務署などにお問い合わせください。



水害から 立ち上がる人 バックアップ

特集

アジアの現地ネットワークと共に支援



インドネシア水害の被災地に支援物資を届けるのに活躍したモトクロスバイクチーム＝2月2日、アチェ州ビールン県スワ村

▲上部写真 何日も続く豪雨で水没した街から避難する人々＝11月28日、スリランカ、西部州コロンボ県コロンボ

昨年11月、アジアを立て続けに襲った水害。インドネシアでは11月25・26日、サイクロン「セニャール」がスマトラ島北部に洪水や土砂崩れなど甚大な被害をもたらし、約330万人が被災しました。

スリランカではサイクロン「デイトワ」が11月28日に上陸。豪雨と強風が全国に大規模な洪水と地滑りを引き起こし、約230万人以上が被災しました。

JAFSでは皆様からのご寄付やJPF*からの助成により、被災者の方へ支援活動を行いました。

*JPF＝認定NPO法人ジャパン・プラットフォーム



山から流出した倒木が橋に掛かって激流を遮り崩落した橋と、渡し舟。1月22日、インドネシア、アチェ州ビールン県ビファア村

復旧遠いインドネシア被災地 自力で地道に前進する村人

11月下旬にサイクロンによる豪雨で被災したインドネシア・スマトラ島のアチェ州。現地提携団体AFSアチェ（CEUDAH）と共に被災者支援活動をするため、1月17日から2月15日までJAFSスタッフが被災地に入りました。

激流に川岸が削られ家が流された家族、1階の天井まで水に浸かり、押し潰されたり泥まみれになった家。自力で少しずつ家の泥を掃除していますが、被災から2カ月以上経っても、家財もほとんど使えない状態で、生活するのは避難所や親戚の家という人が多い状況でした。

道路が崩壊したり橋が崩落している箇所が多数ありましたが、復旧工事が少しずつ進み、仮の橋でつながった所も3~4カ所目にしました。しかし、政府関係者によると全ての復旧完了まで3カ年計画だそうです。

道路が寸断された先には車は入れず、せいぜいバイクか徒歩が交通手段。橋が無くなった場所では、手作りロープウェイや渡し舟で、人・バイクや物を運んでいました。未だ孤立する集落が多数ありました。

井戸があった家や村でも、泥をかぶり使えなくなった井戸がたくさんありました。市街地に近く水道インフラがあった村にこそ、水道が被災した今、井戸が必要になっています。水道が復旧するまで1年はかかるそうです。

そんな中でも、各村では村長が住民をまとめ協力し合い、皆が前を向き懸命に生き抜こうとするたくましい姿がありました。

壊れた橋の向こうに食料

JAFSはAFSアチェと共に、現地の人々のネットワークとつなが

り、村々の村長さんや地区コーディネーターさんと相談しながら、今現在のニーズを聞き取り、食料や掃除用具・生活用品、また水供給を支援しました。

食料支援としては、ベネルメリア県の山間孤立集落を中心に、ビールン県にも米と油を届けました。

ベネルメリア県には、橋の崩落のために車が入れない孤立集落が多くあります。たとえ崩落箇所が短くとも、仮に架けた手作りの木の橋は、人かバイクしか通れません。

ここからが、私たちのモトクロスバイクチームの出番でした。途絶えた橋の向こうで待っている人を思い、車からバイクに食料を積み替え、険しい道も多々乗り越えて、奥へ奥へと届けてくれました。

奥のほうの村では、災害直後に政府から一度食料支援があったきりだ

った、来てくれてありがとう、食料を届けてくれてありがとうと、声を震わせて感謝されたそうです。あなたたちを忘れてないよ、という気持ちと一緒に届けたのだと思います。

この食料支援は、元々地元のモトクロスバイク好きのライダー仲間が、自分たちにしか行けない孤立集落にポケットマネーで食料を届けていたことから始まった活動。手段はあるが資金に乏しい彼らと、AFSアチェのメンバーが出会い、JAFSが協力して、より多くの人々に食料を届けることができました。



▲ 被災2カ月後、全く片づけの進んでいない独居老人の家の泥かきを手伝う近所の人 = 1月28日、アチェ州ビールン県サラシロン村

▶ 水道が止まった村に井戸ができ、ようやく近所で水が得られて笑顔 = 1月31日、同州同県クブ村



学校という日常に戻る

家が流され1月からの新学期に学用品を準備できない家庭には、JAFSに皆様から頂いたご寄付でリュックと文具を届けました。受け取った女の子が、リュックを開けたり眺めたりしながら何度もにんまりと微笑んでいたのが印象的でした。

子どもにとっては、学校や友だちとの遊びが戻るべき日常。泥だらけの被災家屋の前で、おもちゃのダンブカーに泥を積んで遊ぶ男の子をよく見かけました。水害が子どものトラウマにならぬよう、村長さんが避

難所で子どもたちを集めて楽しい企画を催す心がけもされていました。

命の水が未来をうるおす

洪水の泥水をかぶり水道インフラが被災したビールン県の8カ村では、井戸を新たに掘削したり湧水パイプラインを整備しました。

水道が使えなくなり水を得る手段に困っていましたが、この井戸により、遠くから水を運ばなくても家の泥掃除ができ、川に行かなくても水浴ができるようになりました。1基では村全体をカバーできませんが、生活を建て直す第一歩となります。井戸業者さんの中には、自宅がまだ泥だらけの状態掘削作業をする人もいました。

片づいた家で眠り食べる日

家に戻って生活できるよう、泥だらけの家を片づける掃除用具と、寝具や衣類など生活用品も届けました。現地でニーズを聞き取る中で、家で食事を作るようガスコンロが必要との声を多く聞いたので、皆様からのご寄付で228台を購入し、直ぐに手渡すことができました。

被災者には育児中のお母さんも多く、日本製除菌スプレアの支援も衛生状態を保てると感謝されました。

村人たちは大変な生活ながらも笑顔を絶やさず、「テリマカシー（ありがとう）」と「サマサマ（どういたしまして）」だけで互いの心がつながりました。日本語での「ありがとう」に心むむもありました。

この支援活動は、20年以上に渡り協力関係にあるAFSアチェのメンバーとの絆があったからこそ。これからもこの代えがたい信頼関係を継続していきたいと思ひます。

※認定NPO法人ジャパン・プラットフォームの助成、および当会へのご寄付により支援活動しました。

(JAFSスタッフ

川本 裕子、柿島 裕)

日本からの井戸役立ったスリランカ

サイクロンにより被災したスリランカの中でも、特にキャンディ県とバドゥッラ県では、家屋の損壊、学校教育の中断、安全な水と食料が得られない状況が、一部地域ではまだ続いています。子どもたちの体も心にも大きな傷を受け、喪失と不規則な食事、災害の恐怖、不安、悲しみに苛まれました。日常に必要な物品に加え、制服や学用品も失い、栄養支援と日常生活への復帰を目指した支援が緊急に必要とされ、現地提携団体サルボダヤ シャンティセナは、災害直後から自分たちにできる活動を開始しました。

贈った井戸で安心を得た

災害時に、今までに日本から寄贈いただいた井戸が使えたことで、村人たちは大きな希望と安心を得るこ

とができました。

特に山岳部は崖崩れが起き、町とのアクセスが寸断される中、すべての物資が止まってしまいました。毎日の飲み水が得られない地域も多く、井戸のある村では近隣の村の人にも受け入れ、安全な水を少しでも得られるよう、協力し合いました。

また水害によって汚染されてしまった井戸は、いったん水をくみ出し、清潔にするボランティア活動もおこなわれました。活動地の井戸の清掃は順次完了していています。

子どもに栄養と教育を

少しずつ復興が進む中、今一番必要とされているのは、支援が届かない被災地の子どもたちの栄養改善と教育を継続するための支援です。

今後はキャンディ県のパサラ・カ

ンダカティヤ・バドゥッラ・ワリマダ・ウバラナガマ地区、バドゥッラ県のウダパラタ・ドルワ・ウドゥドゥンバラ・ガンガイハラコララ・ミニペ地区で活動を進めていきます。国中に被害が出る中、貧困率と栄養失調が多い地域であることからこの2県が活動地として選ばれました。災害以前から経済的に脆弱な状況にあり、一時的な外部からの支援なしには、失われた生活用品や、子どもたちへの定期的な栄養価の高い食事の提供は容易ではありません。栄養失調状態にある被災した子どもたちが、必要とする適切な医療や食事を得られないことは命に直接関わるため、集中的な支援が不可欠となっています。

スリランカにはサンポーシャと言われるスリランカ発祥の栄養豊富なシリアル食品があります。トウモロコシ、大豆、緑豆、米などの穀物をベースに作られ、ビタミンやミネラルが豊富に含まれており、子どもから大人まで広く食べられています。加熱済みで、牛乳や水で煮てお粥にしたり団子にしたりと、朝食や軽食として親しまれています。サンポーシャの配布も開始しました。

今は各地区で対象者をリスト化し、最も脆弱な立場にある児童（特に女性世帯主の家庭）を確認し、公平性のある支援の準備を進めています。また保護者が安心して相談できる窓口を設け、取り残しのない活動にしていけるよう、話し合いを重ねています。

失われた生活用品と災害時でも衛生的な生活を守り、未来に希望を持って復興に向かえるよう、継続した活動と支援をお願いします。

(サルボダヤ シャンティセナ
ラシカ・ギータンガ)



水害で汚染された井戸を清掃するボランティア=12月6日、スリランカ、西部州ガンパハ県ガンパハ マキランガムワ

井戸ができた村

みなさんのおかげで

いのち 生命の水 うるおす未来

井戸の寄贈にご協力ください。あなたの力がアジアの人々の命を助けます。ご寄贈者に完成報告書、写真、パネル写真を届け、現地の井戸にご寄贈者のネームプレートを設置します。

■井戸1基ご寄贈の場合に必要な費用■ (2024年4月改定)
 インド=60～80万円 スリランカ=40万円 バングラデシュ=25万円
 ネパール=20万円 (パイプライン=25～400万円) フィリピン=45万円
 カンボジア=28万円

※現地の建設・資材費上昇により改定。3年間のメンテナンス費、管理費含む。

■寄付を合わせて1基寄贈の場合■ 1,000円以上の任意額のご寄付で井戸建設にご協力いただけます。20万円以上ご寄付でプレートに記名いたします。

■お振込み先■ ・郵便振替 00960-6-10835 アジア協会アジア友の会
 ・三菱UFJ銀行大阪中央支店 普通1968711 公益社団法人アジア協会アジア友の会

ご寄付には
 税の優遇措置が
 受けられます

安全で衛生的な水を確保できない地域に井戸ができて生活基盤が整い、自立へ一歩踏み出せるようになりました。ご寄贈くださったみなさまに感謝申し上げます。

詳しくはアジア協会アジア友の会
 ☎06-6444-0587へ

カンボジア

ため池行かず水得られる

タケオ州トレアン郡プレイスロック地区プレイス
 ローク村 受益者：7世帯44人と近隣住民
 形式：露天式=深さ23m

村には安全で十分な水が得られる井戸がなく、村人はタンクを持って遠方のお寺のため池まで、決して清潔ではない水をくみに行っていました。それは重労働でした。井戸の寄贈が決まり、皆が使いやすい場所の家が土地の提供を申し出てくれたので、掘ったところ、とても良い水脈を見つけることができました。水質検査でも飲用に適切な水との結果が出た時には、村人皆で大いに喜びました。村の中で衛生的な水を得ることができるようになり、生活が大きく改善されました。

寄贈者 「ステハジ」プロジェクト様



学校や仕事に時間使える

寄贈者 札幌リバイライオンズクラブ様



タケオ州トレアン郡プレイスロック地区トラペ
 ンベン村 受益者：7世帯44人と近隣住民
 形式：露天式=深さ22m

井戸ができるまで村人は遠方のお寺の池まで、水をくみに行かなければならず、家族に必要な水を運搬するのに毎日多くの時間を費やしていました。水くみを担う子どもや女性たちは、水くみのために学校に通えなかったり、女性たちは家事や収入を得るための仕事に時間を使うことができずにいました。井戸ができ、安心してその水を飲み、身の回りを清潔に保つことができるようになりました。また水が得られることで、野菜や家畜を育て、暮らすこともできます。

村で安全な水得られ健康に

マハラシュトラ州ガッチロリ県チャモルシ地区デ
カニ村 受益者：60世帯202人と近隣住民
形式：ポンプ式=深さ60m

村の公的施設は小学校一校のみ。村には以前から手で掘られた浅井戸が2基ありましたが、どちらも乾季には干上がってしまい、村人は、村はずれにある池の水に頼らざるを得ませんでした。池まで水くみに行くには時間がかかる上に、動物も使うため安全な水ではありません。この度井戸が寄贈され、村で安全な水を得ることが可能になり、村人の生活は大幅に改善されました。きれいな水が村へもたらした利便性と健康により、村人たちは今、新たな希望と安心を感じています。

寄贈者 **HONG KONG FRIENDS NO.4 様**



水くみから解放された



寄贈者 **HONG KONG FRIENDS NO.5 様**

マハラシュトラ州アマラバティ県アチャルプール
地区カンドリ村 受益者：300人
形式：ポンプ式=深さ103m

低カーストや先住部族の多いこの村では、清潔な水と衛生設備へのアクセスが不十分なことが原因で、根深い健康問題に直面していました。女性と子どもたちは、この問題の矢面に立たされ、何時間も水くみに時間を費やし、その負担のため健康、教育、仕事に支障をきたしていました。この度、電動モーター付き井戸の寄贈により、安全な水供給が安定的に可能となり、日常生活は劇的に変化しました。新しくできた井戸によって、水くみの負担と健康リスクも低減しました。

村唯一の高校に水が来た

バグワティ県シンドウバルチョーク郡ボテシパ村チャ
ンデソリ小中高等学校 受益者：生徒・教師520人
形式：水道パイプライン

チャンデソリ小中高等学校は、村唯一の高等学校で、各地区にある小学校や中学校を修了した後進級する村の子ども全員が通う学校です。2015年の地震で、この学校に水を供給していた水源が枯れてしまいました。地域住民と同じ水源であったため、まずは住民の水を確保することが優先されましたが、それと別に、学校用としては十分な水量の新しい水源が見つかりました。その水をひいて学校専用の貯水タンクを設置し、学校に水を供給できるようになりました。

寄贈者 **直の会様**





第5回 JAFS「水」写真コンテスト

最優秀賞に 山根淳市さん「夏の日」

最優秀賞
夏の日 山根淳市
(大阪府)

JAFSは国連の世界水の日（3月22日）に合わせて昨年につき、第5回「水写真コンテスト」を開催しました。「水と生きる子どもの未来」をテーマに、一般の方からたくさんの作品のご応募をいただきました。このイベントは、水の持つ美しさやその価値、そして水環境の保護への意識を高める目的で始まりました。

審査員の方による第一次審査を通過した10作品を、2026年2月25日～3月2日に行われた「第22回H₂OサントNPOフェスティバル（阪急うめだ本店）」の会場に展示し（=右写真）、最終審査として来場者の皆様の投票で優秀作品を決定しました。

最優秀賞には山根淳市さんの「夏の日」、優秀賞に森 鮎太さんの「桜のトンネルの下で」、オーディエンス賞として山口 弘さんの「大洞の泉、命を映す水」が選ばれました。（作品説明中の作者名は敬称を省略しました）



▼優秀賞

桜のトンネルの下で || 森 鮎太 (埼玉県)



▼オーディエンス賞

大洞の泉、命を映す水 || 山口弘 (埼玉県)



—写真に込められた思い—

最優秀賞 山根淳市さん「夏の日」

都会のオアシスで元気に遊ぶ子供たちの様子を表現しました。

優秀賞 森 鮎太さん「桜のトンネルの下で」

お花見へ行った際に撮った写真です。春の光に照らされて反射し輝く川と桜が作り出す景色が綺麗で、つい足を止めてしまい撮った1枚です。この景色を見て、改めて川を綺麗に保つことが大切だと感じました。

オーディエンス賞 山口弘さん「大洞の泉、命を映す水」

富士山の湧き水が湧き出る大洞の泉。澄み切った水面に映るクロツグミの姿が、水の豊かさと静寂を物語っていました。水が育む命の一瞬を切り取った一枚です。

JAFS大阪事務所が移転 イベントや活動に集まれる居場所に



1月26日にJAFS大阪事務所が大阪市天王寺区空堀に移転し、新たな活動をスタートしています。これもひとえに、会員の皆様のご支援の賜物と深く感謝しております。

新事務所の所在地は、大阪メトロ長堀鶴見緑地線「玉造」駅から徒歩5分、またはJR大阪環状線「玉造」駅から徒歩10分の場所に位置しています。住所は大阪市天王寺区空堀町6-12、レンガ調の茶色いビルです=写真。現在は2階が事務所となっておりますが、ゆくゆくは他のフロアでもイベントを催したり、会員さんが気軽に集まったりできる居場所を作っていけたらと思っています。

JAFSは、これまで会員の皆様と46年間、ともに歩んできました。次の新たなステージに向けて会員の皆様と共に新生JAFSを創っていけたらと思っていますので、ぜひ新事務所にお越しいただけることをお待ちしております。

(JAFSスタッフ 藤澤 幸二郎)



国内外のさまざまなイベントをHPに載せています。記事についてのお問い合わせはJAFSへ。裏表紙にアドレス、連絡先

事務局ボランティア募集

JAFS事務所では、地域社会や国際支援の現場で活動を支援くださるボランティアの方を募集しています。子ども支援、環境保全、災害支援、広報・事務サポートなど、様々な分野であなたの力を活かせる機会があります。専門的なスキルがなくても大丈夫ですので、未経験の方でも安心して参加いただけます。

週に数時間からの参加も可能で、学生、社会人、主婦、シニアの方まで幅広く募集しています。社会のために何か行動したい、人とつながりながら成長したいという思いがあれば、どなたでも歓迎です。

あなたの一歩が大きな変化を生み出す力になります。興味をお持ちの方は、ぜひお気軽にJAFS榮までお問い合わせください(06-6444-0587)。

地区会チャリティ 井戸贈りたい

第30回西宮国際交流デーが2月21日にフレンテ西宮で開催され、今年もJAFSの芦屋地区と西宮地区の会員が参加しました(西宮市国際交流協会主催)。スペースの関係で活動紹介展示はできませんでしたが、



置いていた会報アジアネットを手に取る方が多く、持ち帰っていただきました。アジアグッズなどのチャリティ販売をしました=写真。

ホールが改修中のため民族音楽などのイベントがなく、来場者は例年より少なく感じましたが、ヤクの毛

織のネパール産ショールは今年も人気で完売しました。メンバーの手作りクッキーも売れました。ヤクが何か分からない方が多かったので、来年はヤクの写真があるといいね、と話しました。

今回はアジアネットのイベントカ

レンダーを見て、お近くの会員さんが手伝いに来てくださり助かりました。井戸寄付までの道のりは長いですが、少しずつ地区会でのチャリティ活動を進めていこうと思います。

(JAFS会員 芦屋地区会

戸田 恭子)

シンガポールとベトナムから見た これからの日本

1月10日、アジア市民大学の第7期の大事なスタート日に、アジア市民大学をこれまで支えてくださっている会員の皆様方や新たな学生さんたち、計30人近くが参加くださり、盛況の内に有意義な第1回を終えることができました。

まずは新学長の私の抱負として「これまでの実学長の理念を引き継ぎ、より多くの市民や学生たちに、アジア各国の事情を学ぶ意義や展望」をお話しました。

第1回のテーマは「シンガポール



とベトナムから見た、これからの日本の課題と展望」。両国から学ぶキーワードは「多様性」「多層性」「多重性」で、これは他のアジア諸国と我が国との平和と相互理解につながる上で重要であると締めくくり

ました。

第2回以降も継続して、ご受講くださいますようお願いいたします。

(第7期アジア市民大学 新学長

桂 良太郎)

ノアノアフエスタ



心ひとつにクリスマスパーティ

昨年12月20日、なにわ南地区会主催のノアノアフエスタ・クリスマスパーティが、皆様の暖かい心をいた

だいて、アジアの子ども支援のために開催されました。

JAFSスタッフ柿島さんの友人

のオカリナ奏者が出演=写真。クリスマスの音楽で、参加30人の皆の心がひとつになって同じ時間を共に過ごしました。笑顔と笑いがこの場を包みこむ素晴らしい体験でした。

会場となったハピネスノアノア(障がい者生活介護施設、大阪市)の利用者さんが数カ月練習されてきたハンドベルの演奏は、聴きにいられた皆さんの心を優しく一つにしてくれる和やかな雰囲気をつくりだしてくれました。

一人ひとりのクリスマスへの優しい思いが伝わる素敵な時間となりました。盛り上げていただいたなにわ南地区の世話人の皆様に心から感謝します。

(なにわ南地区会 会長

メ木 泰輔)

JAFSチャリティイベントカレンダー



2026年春

| 月 | 日 | 地域 | 行事名 | 時間 | 実施場所 | 参加費 | 内容 |
|----|---------------|-------|---|-------------------------------|---|---|---|
| 4月 | 4日(土) | 中央区 | JAFS国際ネットワーク支援会 総会 | 14:00~16:00 | ブライトンバルカフェ 大阪市中央区南本町3-6-14 大阪メトロ御堂筋線本町駅9番出口出でず | 1500円 (昼食含む) | 年に1度の総会を開催します。また新任事務局スタッフからお話をお聞かせします。 ●申込窓口：大仁 090-9271-6062 |
| | 4日(土) | 奈良 | 秀長の郡山散策とお城桜祭り見物 | 13:00~16:45 | 13:00近鉄郡山東口改札口集合 16:45頃近鉄郡山駅で解散 | 1600円 (大河ドラマ館入館費含む) | 藍染め等を展示している旧家の箱本館「紺屋」を訪ね、その後白壁の町家を見ながら、大河ドラマ館を見たのち郡山城跡へ移動し桜祭りを楽しみます。郡山城の桜は、日本の桜名所100選にも選ばれています。 ●申込窓口：なにわ西地区世話人 伊藤勝090-2410-5529 |
| | 11日(土) | 西区 | 第7期JAFSアジア市民大学 第4回 韓国 | 14:00~16:30 | 肥後橋官報ビル8階会議室 大阪メトロ四ツ橋線「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ | 一般 2400円 会員 2000円 学生無料 | 立命館大学コリア研究センター客員研究員の生駒智一氏が、「日韓関係60年の歩みとこれからの展望」について60年間の振り返りからお話しされます。終了後、希望者で懇親会を行います。 ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834 |
| | 15日(水) | 生駒市 | アイビー歌声サロン in生駒 | 15:00~16:30 | 生駒市たけまるホール 多目的室 近鉄奈良線、大阪メトロ中央線生駒駅すぐ。生駒市北新町9-28 | 700円 | 腹式呼吸を目指し、出席者からのリクエスト曲をキーボード生演奏で、皆さんと一緒に歌います。演奏者：鳥居京子 ●窓口：有山加代子 090-8377-5151 |
| | 16日(土) | 三田市 | 第38回JAFS道楽の会 JAFS歩く会~三田の歴史スポット・武庫川の桜並木 | 10:35~15:30頃 | 10:35JR三田駅改札口集合 15:30頃JR新三田駅解散 | 1000円 | ウォーキングに参加することでアジア支援のチャリティ募金を行います。*コース：天満神社→心月院→兵庫県立人と自然の博物館(入場料200円・70歳以上100円) 昼食休憩(各自持参)→武庫川桜街道→新三田駅 ●お申込・お問い合わせ：石原 090-1134-3085 |
| | 18日(土) | オンライン | 「みどりの遺言」無料法律相談 主催：一般社団法人JELF | 10:00~17:00 | 相談希望の方は下記の電話またはメールにて事前予約ください。電話：03-6264-7330(アールイツ法律事務所内)メール：midori@green-justice.com | 無料 | 一般社団法人JELF(日本環境法律関連連盟)は当会の池田理事をはじめとする全国の430名の弁護士で構成される環境保護を目的とした団体で、当会を含む環境保護団体に寄付や遺贈をお考えの皆様「みどりの遺言」プロジェクトを進めています。今回、個別相談会(お一人1時間)を開催しますので、ご希望のかたは電話かメールでご予約ください。詳細は次ページ下部。 |
| 5月 | 2日(土) | 中央区 | JAFS国際ネットワーク支援会 総会 | 14:00~16:00 | ブライトンバルカフェ 大阪市中央区南本町3-6-14 大阪メトロ御堂筋線本町駅9番出口出でず | 1000円 | 年に一度の総会を開催します。会員以外のオブザーバー参加も可能です。 ●申込窓口：大仁 090-9271-6062 |
| | 5日(火祝) | 宝塚市 | 中山寺こどもフェスティバル【ボランティア大募集】 | 9:30~15:30 | 中山寺(宝塚市中山寺 2-11-1) 阪急中山観音駅北出口より徒歩3分 | 無料 | 安産祈願・子授祈願で有名な宝塚市の中山寺で開催のこどもフェスティバルに今年も出店します。楽しいヨーヨーやバルーン遊びをはじめ、美味しいうどん、タコせん、綿菓子などの他、水カマ運びなどのアジア体験を楽しみながらアジアのこども支援を行います。 ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834 |
| | 9日(土) | 西区 | 第7期JAFSアジア市民大学 第5回 フィリピン | 14:00~16:30 | 肥後橋官報ビル8階会議室 大阪メトロ四ツ橋線「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ | 一般 2400円 会員 2000円 学生無料 | 福岡女子大学国際文理学部の山根健至准教授より1970年代に激化したフィリピン南部のミンダナオ島における武力紛争が生じた背景や未だに解決に至っていない要因や今後の和平に向けた取り組みなどについて詳しく解説します。 ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834 |
| | 16日(土) | 天王寺区 | なにわ南&なにわ西地区会合同なにわチャリティウォーク「真田丸の詳細と3次元迷路、空堀の跡、戦跡を辿る」 | 14:00~17:00 | 14:00JR玉造駅改札口集合 17:30頃大阪メトロ谷町6丁目解散 解散後、希望者で懇親会「魚と天ぷらの居酒屋 まるさや本店」 | 1000円 懇親会は4100円 (飲み放題) | 大坂冬の陣で活躍した真田丸の跡、大坂構構えの空堀、その複雑な痕跡の地、真田山旧陸軍墓地等を訪ねます。また1月末に移転したJAFSの新事務所(空堀)も訪ねます。 ●窓口：事務局柿島 090-1021-6834 |
| | 21日(木) | 未定 | 第39回JAFS道楽の会 JAFS歩く会 | 未定 | 未定 | 1000円 | ウォーキングに参加することでアジア支援のチャリティ募金を行います。 ●お申込・お問い合わせ：石原 090-1134-3085 |
| | 21日(木) | 生駒市 | アイビー歌声サロン in生駒 | 12:30~14:00 | 生駒市たけまるホール 多目的室 近鉄奈良線、大阪メトロ中央線生駒駅すぐ。生駒市北新町9-28 | 700円 | 腹式呼吸を目指し、出席者からのリクエスト曲をキーボード生演奏で、皆さんと一緒に歌います。演奏者：鳥居京子 ●窓口：有山加代子 090-8377-5151 |
| | 23日(土)~24日(日) | 美山 | 美しい美山で自然を満喫しよう 美山芍薬鑑賞会 | 23日(土) 14:00集合 24日(日) 14:00解散 | 京都府南丹市美山町内久保瀬頭1番地 JR日吉駅より五ヶ荘、知井方面行きバス 大内下車 送迎車あります。ご連絡下さい。 | 大人6000円、子ども3000円 JAFSKA NTA各会員価格あり (1泊3食付き) | 非常に限られた山地にのみ生息するベニバナヤマジャコク。5月ごろにふんわりとした紅白の花を咲かせます。花の命は3~4日ほどで京都府指定希少野生動物となっております。 ●窓口：関西ナショナルトラスト協会 鳥居 090-5663-6123 |
| 6月 | 3日(水) | 生駒市 | ムジークフェストなら2026 アイビー歌声サロン in生駒 | 15:00~16:30 | 生駒市たけまるホール 小ホール 近鉄奈良線、大阪メトロ中央線生駒駅すぐ。生駒市北新町9-28 | 無料 | ムジークフェストなら2026の一環として、アイビー歌声サロンも参加しています。どなたでも無料でご参加いただけますので、どうぞお気軽にいらしてください。腹式呼吸を目指し、出席者からのリクエスト曲をキーボード生演奏で、皆さんと一緒に歌います。演奏者：鳥居京子 ●窓口：有山加代子 090-8377-5151 |
| | 6日(土) | 中央区 | JAFS国際ネットワーク支援会 | 14:00~16:00 | ブライトンバルカフェ 大阪市中央区南本町3-6-14 大阪メトロ御堂筋線本町駅9番出口出でず | 1000円 | これまで培ってきたアジア18ヶ国との絆を次世代へつなげ、応援する為の知恵を持ち寄るおしゃべり会です。 ●申込窓口：大仁 090-9271-6062 |
| | 6日(土) | 西区 | 第7期JAFSアジア市民大学 第6回 タイ、カンボジア、ミャンマー | 14:00~16:30 | 肥後橋官報ビル8階会議室 大阪メトロ四ツ橋線「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ | 一般 2400円 会員 2000円 学生無料 | 筑波大学人文社会系准教授外山文子准教授より、タイ、カンボジア、ミャンマーを事例に、強権政治指導者の登場によって世界はどう変わったのか、独裁者はなぜ出てきてしまったのか、ガバナンス改革との関係が考えます。 ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834 |
| | 7日(日) | 池田市 | JAFS高槻第15回アジア・ホーム・パーティ ぼたもち&ゆかいな仲間の音楽会 | 11:00~15:00 | トラックピアニスト猪口薫邸 池田市渋谷3-1-1 阪急池田駅からはタクシー乗り合わせでお越しください。参加者には個別でご案内いたします。 | 1500円 (ぼたもちランチ付き) | ぼたもち作り名人の指南の下、あなたもぼたもち作りの名人になろう! ぼたもち作りの初歩から指導します。*持ち物：スリッパ・エプロン・三角巾・マスク ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834 |

| | | | | | | | |
|------------|------------|----------------------|----------------------------|--|--|--|--|
| 13日 (土) | 中央区 | 第14回定期社員総会&事業報告会 | 14:00~ 16:45 | 大阪科学技術センター7階701号室(大阪市西区靱本町1-8-4) 大阪メトロ四つ橋線本町駅より徒歩5分 | 無料 | 年に一度の定期社員総会を開催します。参加対象は議決権のあるJAFS社員会員ですが、オブザーバーとして維持会員・賛助会員も参加いただけます。終了後、最近の国内外の事業報告会を同会場にて開催します。 | |
| 13日 (土) | 中央区 | 第14回定期社員総会・懇親会 | 17:00~ 19:00 | レストラン・アリスロード(大阪府中央区瓦町1-4-9 井門瓦町ビルB1) 大阪メトロ御堂筋線本町駅②出口より徒歩3分 | 4500円 (ビュッフェ・飲み放題) | 定期社員総会後の懇親会を総会会場より徒歩5分のレストラン・アリスロードにて開催します。皆様の交流・親睦の機会としてどなたでもご参加いただけますのでぜひお越しください。 ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834 | |
| 18日 (木) | 未定 | 第40回JAFS道楽の会 JAFS歩く会 | 未定 | 未定 | 1000円 | ウォーキングに参加することでアジア支援のチャリティ募金を行います。 ●お申込・お問い合わせ：石原 090-1134-3085 | |
| 7月 | 1日 (水) | 生駒市 | 歌声サロン 無料体験会 アイビー歌声サロン in生駒 | 15:00~ 16:30 | 生駒市たけまるホール 小ホール 近鉄奈良線、大阪メトロ中央線生駒駅すぐ。生駒市北新町9-28 | 無料 | どなたでも無料でご参加いただけますので、どうぞお気軽にいらしてください。みんなで楽しく歌いましょう!! 腹式呼吸を目指し、出席者からのリクエスト曲をキーボード生演奏で、皆さんと一緒に歌います。演奏者：鳥居京子 ●窓口：有山加代子 090-8377-5151 |
| | 4日 (土) | 中央区 | JAFS国際ネットワーク支援会 | 14:00~ 16:00 | ブライトンビル会議室(大阪メトロ御堂筋線本町駅9番出口出てください) | 1000円 | これまで培ってきたアジア18ヶ国との絆を次世代へつなげ、応援する為の知恵を持ち寄りおしゃべり会です。 ●申込窓口：大仁 06-6444-0587 |
| | 11日 (土) | 西区 | 第7期JAFSアジア市民大学 第7回 インド | 14:00~ 16:30 | 肥後橋官報ビル8階会議室 大阪メトロ四つ橋線「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ | 一般 2400円 会員 2000円 学生無料 | 近畿大学国際学部教授で関西日印文化協会副会長の広瀬公巳氏が、世界一の人口大国となったインドの最新事情について外からだけではなく内情も含めて多角的に紹介レインドの今を考えます。 ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834 |

♡「もったいない」のきもちを社会貢献へ♡

JAFSでは以下のものを集めています。ぜひ、ご協力をよろしくお願いいたします。

- 書き損じハガキ、切手(未使用・記念切手可)、外貨コイン：事務局の通信や、JAFSの活動に使わせていただきます。
- 服、アクセサリ、カバン等：買ったけど回数しか使っていない。でも捨てられないものありませんか。

お問い合わせ 06-6444-0587 JAFS事務局

断捨離 × 国際協力 **もったいないを力に!**

寄付いただいた物品は、チャリティーショップ KANAU で販売。
その売上がアジア協会の支援活動に役立てられます。



洋服(春・夏服)
※冬服は9月以降にお願いします



靴



本/CD/DVD



服飾品
アクセサリ
ショール等

問合せ・受付先 ▼ 火曜定休 10:00 ~ 18:00 JR 寺田町駅より徒歩 10分

KANAU

夢かなうチャリティーショップ

〒544-0025
大阪市生野区生野東 2-2-15
☎ 090-4161-0236 (青木)

詳細 ▶



ご遺志をアジアの未来につないでいただける方法を 弁護士さんに無料で相談できます。

見聞きすることが増えてきた「遺贈」ですが、実際のところ内容や方法がよく分からないというお声もあります。「みどりの遺言」プロジェクトでは、JAFSを信頼できる遺贈寄付先として推薦くださっていますが、この度、ご遺贈を検討されている方を対象に、無料法律相談会を開催されます。

遺言書の作成や遺贈・相続に関する法律的なことを、弁護士さんに気軽にご相談いただける機会です。

「みどりの遺言」プロジェクト <http://jelf-justice.net/>
全国約430名の弁護士で構成される一般社団法人JELF(日本環境法律関連連盟)が進める、環境保護団体に寄付や遺贈をお考えの方のために法的サポートをおこなうプロジェクト。今年で10周年を迎えます。

「みどりの遺言」無料法律相談会

- 主催：一般社団法人JELF(日本環境法律家連盟) <https://www.jelf-justice.org/>
- 日時：2026年4月18日(土)午前10時から午後5時まで ※お一人様1時間
- 参加方法：
 - ①オンライン
予約が確定した後に担当弁護士からZoomのリンクをお送りします
 - ②電話
予約の開始時間になりましたら、担当弁護士から直接お電話をおかけします
 - ③弁護士事務所での面談
【東京】アーライツ法律事務所 <https://r-rights.jp/>
【名古屋】名古屋E&J法律事務所 <https://www.green-justice.com/>
【大阪】あすなる法律事務所 <https://www.asunaro-l.gr.jp/>
- 申込方法：「みどりの遺言」プロジェクト事務局までご連絡ください
電話/03-6264-7330(アーライツ法律事務所内)
メールアドレス/midori@green-justice.com
※メールでご連絡の際は ①お名前 ②日中の連絡先電話番号
③ご希望開始時間(10時から1時間刻み)④ご希望の参加方法(面談の場合は場所のご希望も)をお知らせください。

新入会員ご紹介

ご入会感謝申し上げます。(敬称略・50音順)

2025年12月1日～2026年2月28日

●維持会員

重富浩子

●法人会員

(株)D-Fluff

会費納入者、寄付・物品協力者

温かいご支援ありがとうございます。(敬称略・50音順)

2025年12月1日～2026年2月28日

なお夏季・冬季募金へご協力くださった方につきましては、1年後の夏季・冬季に別紙で報告させていただきます。

●社員会費

明見勝好/明見睦子/安達英行/熱田親憲/熱田典子/池田邦子/池本修/石田雅昭/石原基義/イオングループ労働組合連合会会長泉澤匡範/伊藤誠/伊東祥多/上田高久/大石みどり/大原映子/岡田光浩/岡本厚/沖田文明/小野元裕/柿島裕/梶山孝清/川上知子/川崎壽/北田嘉信/北野光三/(株)九十代表取締役北山典彦/草加節男/栗村壽子/天神山古賀眼科古賀旭/古賀節久/櫻井紘哉/佐藤道代/三本木一夫/下山浩二/高岸泰子/田中壽美子/田中政直/谷和弘満/辻知久/土屋菊男/藤間孝子/藤間剛/中井淳夫/中須賀敬子/西田貞之/橋本末子/橋本隆/端無勝/東幹男/平瀬勢丈/PRESS SARI-SARI 福川肅/藤原正昭/本間一将/宮野谷篤/宮本照佳/三渡眞由美/村上和範/村上公彦/毛利吉男/(株)ニード森脇寛/安田信人/日本基督教団洛西教会柳井一郎/薮内資子/山崎道治/山崎桃/山下泰之/山田和広/山田穂積/(株)OSGコーポレーション代表取締役会長湯川剛/横井怜子/横山浩平/米田明正/米田徳子/若元裕美

●維持会費

安達淳子/熱田昭子/熱田貴子/天野さやか/天野日出男/家本英里/石田美咲/石原京子/伊津野修/稲垣三千穂/井上賢/井上順子/今井利子/今井康郎/岩城良子/岩田史子/枝川豊/大島一晃/大槻昌寛/大野典子/大平英明・さゆり・こはる・ほのか/岡野きぬ子/置田善三/越智翼/尾上禮子/陸山征宣/籠島慎二/片山和子/片山直也/金子澄子/印牧武人/釜下金郎/上岡忠人/加茂清次/唐木裕司/河上晃浩/川上知輝/菊扇弘子/菊池哲也/北口

正敏/北田雅人/北田勝/吉相幸枝/木野由弘/木原みき/楠井喜代治/熊本千恵子/古賀暢子/小倉正和/極楽寺寺本尚弘/小谷のり子/小林眞澄/小松一子/小森茂之/雑賀美明/坂本任司/佐藤眞子/佐野真佐子/澤田安子/澤田靖子/重富浩子/芝崎末廣/下野博/正法地浩/正法地由紀子/白神博子/須賀浩/菅原直樹/杉江久男/杉野佳代/杉原貴/須藤敏浩/瀬川眞平/関口淳/瀬戸川弘子/曾和明/平善行/高畑政登/高山恵理子/竹田陽子/武生伸子/立石小夜子/田中和枝/田中和子/谷口ちる子/谷丸八郎/谷山好恵/種村政宏/田村康子/辻賢二/辻知久/辻正浩/坪田由紀子/手嶋寛/寺西哲志/遠田智代/徳永正和/外山裕之/鳥居建十/長江佐和/中江優子/中岡末子/中嶋賢二/中嶋多賀子/中島綾/中島就子/中島裕子/永田文/中谷華菜/中西豊次/中西伸子/長野清文/中橋政美/永濱悟/中南有加里/中村真司/並川昌子/西優子/西川龍夫/西田恭子/西野節子/西林昌樹/西山あかり/野寄佳子/橋本喜代子/橋本喜代美/長谷川雅子/秦道代/畠山ひろみ/畠山房子/林和子/林千夏/原田和幸/久光定雄/日野恵美子/日野眞澄/廣敦子/深井泰樹/福西礼子/藤井りか/藤木茂/日本キリスト教会南柏教会藤田百合子/藤原龍雄/古川武/古田万紀子/堀口賢司/本多操/前川匠/前澤良子/眞砂哲志/眞下浩一/榎田実/松井寿之/松田勝也/松原洋子/いち梅寿司松村祐介/マツラ・ラジャン・マン/三木裕則/三國谷勝寛/溝尾敬子/光畑麻美/宮野慧子/虫明桂子/武藤由美子/宗石和久/村上泰代/森村文則/極楽寺まんだら会森本有紹/八尾眞弓/八木正人/Y a k

opSriwicaHyo/八頭司和子/山内幸太/山口幸子/山口文枝/山崎晶子/山路英子/山下登世子/山田明子/山部檀/山本哲司/横山昌三/吉岡照仁/吉田伊吹/吉田準・聖子/米田典子/和田早苗/和田征子/和田達生

●賛助会費

赤石尚子/浅野直人/安藤幹雄/一色由子/井上修二・晶子/井上松月/今枝ゆかり/入江保夫/岩切康宏/岩崎裕保/岩下将人/打越道夫/内田正宏/漆原嘉孝/大島裕子/太田愛子/大野篤一郎/岡村房子/小野英俊/貝柄徹/籠谷啓史/鍛治良祐/粕谷香代子/勝原慶子/加藤昌彦/亀谷眞佐美/川口勝三/川崎雅子/川崎隆二/川端香織/河村徳次/川村幸正/河本朋子/北川久躬子/北川健治/木村有香/栗山聡子/黒田裕子/小泉和/小出幸代/小谷正登/小林照子/小林陽子/小林理恵/駒井隆/齊藤理美/佐伯裕子/笹原由美子/澤智子/設楽宏幸/島田真知子/清水直子/下久保恵子/白山礼子/関川温子/高橋幹雄/田口博國/竹内泰子/竹村亨子/田中恭子/田中佐苗/田中通成/谷口倫子/田宮節子/中宮寺日野西光尊/塚本善弘/月城文子/辻知久/辻昌子/辻本英作/都筑信美/楠ソフトテニスクラブ坪田秋成/出口豊子/寺浦不二子/殿本明子/友成陽子/外山和美/鳥井章司/中岡浩司/中島慎介/中島節子/永谷恵子/中谷太一/永野英子/長浜眞美/中村恵美子/中村弓絵/成山邦子/仁井恭子/西浦暢子/西田京子/新田留美子/根本クミ子・眞倫/橋本亜紀/八田磨/濱田光江/早崎鉄也/東野榮子/財神戸学生青年センター理事長飛田雄一/日高雪子/平岡由紀子/福田香代子/福岡誠之/藤木茂/藤原克彦/舩松志津子/堀米弘子/前田美保子/牧和矢/牧比呂美/松浦有理子/裕江宏・照子/松崎真理/松本和子/眞鍋ミサ子/三里健一/溝口清子/御手洗圭/三宅明子/森佳緒里/森岡幸子/森垣智恵子/森原尚子/矢賀繁之/八木澄子/八木原由希子/柳本京子/山崎兄・恒子/山崎直/山野和子/横山志津子/吉野甚平/義本奈々/霊松寺/若山治子/和田達生

●法人会費

(株)OSGコーポレーション/(株)D-Fluff

●団体会費
大阪友の会

●里親会費

赤石尚子/明見勝好/秋山昂輝/アジア井戸ばたサロン/石原基義/幾谷眞規子/岩田史子/梅本仁美/大畑直之/大林昌子/大平英明・さゆり・こはる・ほのか/加藤智子/印牧武人/川岸幸恵/川端香織/北畑哲治/木村千鶴/極楽寺寺本尚弘/小谷正登/小林剛/今野裕章/佐藤雅美/設楽宏幸/島村和佳奈/下村蓮実/新保崇浩/杉野佳代/鈴木貢/関口淳/谷口ちる子/谷澤大介/谷野麻実/谷村信彦/筒井みゆき/寺西哲志/外山裕之/仲里明星/中谷誠/西浦暢子/西澤純/西山美菜子・千晶・敦記/根上真依/畠山ひろみ/八田磨/ピグマリオン学院奈良教室代表中沢麻子/古川武/の場義恵/眞鍋ミサ子/水島かなえ/森山涼子/八尾眞弓/矢野佳代/吉田幸子/和田義次/渡辺治彦/渡部司

●マンスリーサポーター

天城理伊/榎本忠宣/大河原貴/岸本和彦/北谷俊貴/佐藤文昭/杉崎仁志/武市知己/館野晶光/辻本健二/橋本亜紀/伴香保理/松久敏彦/宮田英一/森美鶴/山下孝夫/山本純平/西澤純

●一般寄付

イオングループ労働組合連合会会長泉澤匡範/枝川豊/大久保勝則・洋子/沖田文明/柿本しのぶ/兼松利木雄/岸本和彦/小代利子/櫻井紘哉/ライフティ(株)芹澤裕子/ソフトバンクつながる募金/畑中義雄/端無勝/(株)ビジネスパートナー管理部人事総務課田沼史子/広島女学院中学高等学校/藤原正昭/眞砂哲志/松本和也/宮田安希子/日本基督教団洛西教会柳井一郎/(株)OSGコーポレーション代表取締役会長 湯川剛/楊錦華/吉松浩一/米田明正/LAOSHANELLE/毛下寿英/宗吉壽芳/楊國玲/黄国堅

●アジアまるごとフェスタ支援金(株)OSGコーポレーション/特定非営利活動法人KANAU/ユニチカユニオン宇治

●能登半島地震被災地支援

愛徳幼稚園/芦澤緑/安中二葉幼稚園/大分明星幼稚園/大杉利幸/北畑哲治/ギャラリー&オフィスいろはにいろはにサポーターズ

／田井中友子／田川久美／谷川祥子／千葉保／(株)TKC代表取締役社長神賀泰人／手束光子／長尾美穂／中川幸治／奈良友の会／仁井恭子／日本キリスト教団西千葉教会／萩原節子／原田ひろみ／藤田知子／二葉幼稚園／北陸学院小学校／村山邦彦／明治学院高等学校／山口かをる／山梨英和カートメルこども園／山本愛子

●東日本大震災復興支援
元橋亮治

●貧困対策指定 職業訓練等自立支援
(公財) MoreJobsBetterLives

●難民支援
日本基督教団水口教会水口子ども教会

●井戸指定
太田宜子／角英樹／南野紀美子

●井戸建設積立
JAFSぞうすいの会／西宮友の会

●井戸建設指定
○インド
(株)ユニコーン
○カンボジア
松江宏・照子
○ネパール
奥村法子／吉川りょう／山崎博司
○バングラデシュ
奥村法子

●水支援
地球愛祭り東京実行委員会井上治子／かみひとねとわーく京都事務局蛸名健仁・加奈子／川本順子

●アジア植林支援
(株)日本入試センター

●アジア・ネットワーク奨学会費
上野孝一／吉田俊朗

●アジア・フレンドシップ夢基金
JAFS歩く会

●コスモニケタン指定寄付
戸田恭子

●インド指定寄付
村上公彦

●インド・HIV子どもと家族支援
JAFSいのちの会枚方

●インドネシア・スリランカ水害被災者支援
穂山常男／有田稔／安藤幹雄／池田一義／池田ミオ子／石神誠／石附康子／伊藤エリサ／岩本郁子／宇田和博／日蓮本宗円頓寺／大岩典代／大木洋子／大杉利幸／大橋一同／大畑直之／オオタケマイコ／岡田経子／岡田一／奥田順／小椋加代子／粕谷香代子／萱原俊哉／川村忠／上林愛子／岸本和彦／吉祥院嶽盛和三／絹田悦子／木村征代／木村依江／際本多市／久保桂子／社会福祉法人恵愛保育所／

糺矢美智／小原陽子／近藤朋子／坂口馨子／坂本任司／佐藤雅子／佐藤美千代／佐藤満昭／澤田武憲／柴谷享一郎／正傳寺和田康圓／正法地由紀子／浄土宗勝楽寺前原英彦／日本キリスト教団新松戸幸谷教会／菅原天満幼稚園／杉本牧子／鈴木千草／社会医療法人財団聖フランシスコ会／瀬尻芳子／仙野和子／田岡佳子／高木光子／高瀬稔彦／田口裕子／竹中有香子／辰登志男／谷阪洋子／玉置拓／千田裕子／地本英子／辻賢二／戸田恭子／富永たけ／中島小夜子／中須賀敬子／中谷誠／中野為夫／桂子／中橋政美／JAFSなにわ西地区会／西荻窪キリスト教会西荻まこと幼稚園／西村美和子／羽田孝彦／林越洋子／原田和幸／東野加代子／平山隆史／福井利法／福西礼子／藤原会計事務所藤原克彦／藤原正昭／船戸康夫／麓忠司／古谷佳世子／松浦有理子／日本基督教団松江教会教会学校／溝口清子／溝渚むつ躬／日本聖公会沖縄教区宮古聖ヤコブ教会／村田恭仁子／八束浩一／山川清／山口かをる／山下玉英／山野和子／山本愛子／横井明子／福田寺横井正／吉田俊朗／了雲寺和田幸子

●インドネシア指定寄付 (バリ島環境教育センター整備支援)
芦澤緑／近藤知佐／田井中友子／谷川祥子／(株)TKC代表取締役社長神賀泰人／手束光子／長尾美穂／中川幸治／奈良友の会／仁井恭子／西浦暢子／西千葉教会／福岡城

南教会／二葉幼稚園／北陸学院小学校／村山邦彦／山口かをる／吉田幸子／吉田俊朗／渡邊喜久次

●ウクライナ緊急支援
安藤謙治

●スリランカ・サルボダヤ支援会費
手嶋寛

●ネパール・ピトゥリ基金・支援
大谷英一／大谷臣子

●ネパール栄養改善教育支援
東代清隆／戸田恭子

●フレンドシップ国際基金
戸田恭子／村上公彦

●フィリピン台風被災者支援寄付
池田五月山教会幼稚園／松山修道院

●バングラデシュ・ネパール大規模洪水復興支援
レデンプトリスチン修道院

●助成金／補助金
○バングラデシュ植林
日本労働組合総連合会「連合・愛のカンパ」
○インドネシア水害被災者支援
特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム

日本語ボランティア募集

外国から来た、日本語がまだよく分からない子どもたちを支援する日本語指導ボランティアを募集しています。子どもたちが安心して学校生活を送り、学びを深められるよう、日本語や日本の文化などを教えていただきます。

■下記のような方を歓迎します
・日本語指導の資格・免許をお持ちの方
・元教員の方

・日本語教育や多文化支援に関心のある学生の方
・子どもと関わることが好きな方

■活動内容
・授業中、取り出しで個別指導での日本語学習サポート
・日常会話や教科学習の理解支援
・学校生活への適応支援

■活動場所
・大阪市立西船場小学校 (大阪メ

トロ四つ橋線「肥後橋」駅から徒歩5分)

■活動日時
・平日、週1回1時間からOK

■待遇
・交通費支給

子どもたちの「わかった!」「話せた!」を一緒に支えてみませんか。ご関心のある方は、お気軽にお問い合わせください。

(JAFS 柿島まで 06-6444-0587)



子どもたちとの交流の中から、即興日本語教室が始まった。2月21日、フィリピン、アンタテーケ州パンダン町、タバイ小学校

家族が招かれたためです。環境フォーラムへの参加、学校や水源地マロンパティ訪問など様々な体験をさせていただきました。印象に残ったのは現地の人々の温かさ。子どもたちはすぐに名前を呼んでくれ、言語の壁を全く感じさせず自然に笑い合い、交友関係を深めることができました。大人たちも家族のように接してくれ、祖父やアジア協会の方々の

二世世代、三世代へ繋がる国際協力 フィリピン・パンダン交流ツアー体験談

フィリピンのパンダン水道パイプラインプロジェクトが1992年に始まってから、多くの日本人が現地を訪れ、安全な水を町中の人々に届けられるよう、共に汗を流し友情を育んできました。プロジェクトの中心的役割を担われた岩田さんと富田さんが昨年亡くなられ、フィリピンのボランティア有志と共に記念碑を立てることとなり、ご家族や親交の深かった人々、総勢11名で2月18日～23日に現地を訪れました。

当時約1万5千人だった人口も今は約4万人。新たな関係者と親交を深め、今の課題を共有し、次世代も持続可能に安全な水を得るための環境保全活動など、今後の活動を相談しました。以下は参加者の感想です。



故父が30年前に設計した水道施設を見に、家族と参加しました。水は暮らしを支え、人が集い、生活を豊かにする。現地の皆さんの笑顔と温かい歓迎に触れ、父の技術が少しで

もお役に立てていることを肌で感じました。父が社員に伝え続けた設計思想は「シンプルにする」こと。物事の本質を理解し、単純で運用しやすい仕組みを追求する—その成果といえる施設でした。パンダン水道局による維持管理が行き届いていて、今も大切に使われていました。この活動は地道な交流を続けて来たアジア協会の皆さんの努力の上に成り立っていることも実感しました。

継続すること、伝え続けること、人と触れ合い信頼し助け合う。そんな優しさと思いやりがそこにはあり、娘たちにとっても新しい世界観が広がる学びでした。

これからも故父から引き継いだ学びを共有し、必要とされる形で貢献していきます。貴重な機会を作ってください心より感謝します。

(富田 航一)



フィリピンのパンダンを訪れたのは、祖父が水道整備に関わった縁で

協力が今も生活の中で語り継がれていると知り、過去の出来事が現在の関係を生み続けていると実感しました。観光では得られない、人と人のつながりの大切さを感じました。

(小林 楓加)



水回りや交通状況、人との関わり方など、日本との違いに多くの驚きがありました。自分にとっての「当たり前」が当たり前ではないと気づけたことは、大きな学びでした。パンダンでの5日間は笑顔にあふれ、人との温かい交流の中で、日本では味わえない幸せを感じました。現地の方々はとても自由で、フレンドリーで優しく、温かさや新鮮さに心打たれました。短い交流にも関わらず別れの際には涙が溢れました。

この経験を通して、英語をもっと学び、現地の方とより深いコミュニケーションが取れるようになりたいと思いました。必ずまたパンダンを訪れたいです。

(中田 そら)

昨年11月下旬、サイクロンによる豪雨が、インドネシアのスマトラ島に洪水や土砂崩れを引き起こし、死者・行方不明者1,400人以上、被災者約330万人という甚大な被害をもたらしました。稀に見る異常気象と言える豪雨でしたが、被害を拡大した原因は森林破壊だと、災害直後から指摘されました。

ここまで前号の当コラムに書いた内容ですが、1月に被災者緊急支援でスマトラ島のアチェ州に入り、実際に目にした森林の様子をお伝えします。

アチェ州ビールン県で、まず遠目に山々を眺める機会があり、何だか違和感がありました。てっぺんに木々が無い山がたくさんあるのです。と言っても、土が丸出しのはげ山ではなく、緑の植物がスカスカに生えている感じ。これまであまり見たことのない景色なので、なんだろう？とっていました。

そこから山奥の被災地に向かい、車で山をどんどん登っていくと、山の斜面しかも高い位置まで、トウモロコシ畑があることが分かりました。森に見える場所も、実は天然林ではなく、油ヤシやサゴヤシの農園でした。私には、パーム油を採る油ヤシのプランテーションと言えば、平地に油ヤシの木が延々と続くイメージがありました。インドネシアは世界最大のパーム油生産国で、油ヤシ農園開発のために森林が伐採されるという情報は知っていても、斜面にもプランテーションがあることは、現地で見

てて知りました。ヤシの木は一定の年数が経つと実を付けなくなるので、伐採して若木に植え替えた場所は、若木がまばらに生えていました。コーヒー農園もあり、コーヒーの木がまばらに植わっていました。木がまばらなこの場所が、緑がスカスカな所なんだと分かりました。

森林伐採や鉱山開発の現場といった土むき出しの斜面はほぼ目にしませんでした。目にした緑は天然林ではなく農園の植物でした。トウモロコシやコーヒーでは根も深く張らず、土壌流出を防ぐ力はありません。生物多様性も低くなります。山間の村人が携わる農業であり植物があっても、森林破壊です。でも生計を立てるには無くてはならないものだと思うと、全面的な否定もし難い気持ちになります。ただやはり村人個人でやっているというより、企業による開発であり、プランテーション経営者が居て、村人は雇用されているのだそうです。

今回の訪問で感じたのは、アチェ州では今後も豪雨が降れば、どこでも同様の水害が起こり得ること。日本はコンクリートによる斜面や河川の防災対策が進み、自然が損なわれていますが安心感があります。一方インドネシアでは対策が乏しく、自然らしさが残ってはいるものの、実は人為的に変化した不安定な自然であり、いっそう水害に無防備だと感じました。（JAFSスタッフ 川本 裕子）

環境コラム

水害を拡大した？森林破壊

入会・寄付のご案内

会員となって継続的に支援くださることで、安定した活動計画ができます。ご協力をお願いいたします。

- A. 社員会員 年額 24,000円
- B. マンスリーサポーター〔維持会員〕 月額1口 1,000円～
- C. 里親サポーター〔アジア里親の会〕
年額1口 30,000円（月額1口 2,500円）
- D. 法人会費 年額1口 50,000円

●会費・寄付の振り込み先

三菱UFJ銀行中之島支店 普通1007011 または楽天銀行リズム支店(209)普通7006892 【(口座名)アジア協会アジア友の会】

遺贈寄付で遺志をアジアへ

ご自身の大切な財産の一部を、JAFSへの遺贈（非課税）として生前に遺言に記していただくことにより、ご遺志をアジアの未来にお役立ていただけます。

遺された方が相続された遺産も、アジアの今後につながる寄付（非課税）として活かしていただくことができます。

ご寄付の用途について、ご相談に応じさせていただきます。

14年ぶりの事務所引越し。しみりする間もなく怒涛の1カ月…。玉造は昔ながらのお店や住宅地も多く、前事務所とはまた違った良さがたくさんあります。心機一転、新生JAFSをよろしく願います！（佳）

インドネシアのアチェ州は、イスラム教信仰心が高い州。夕方6時半～7時半は、1日5回のお祈りの中でも大切な時間ということで、レストランやスーパーが一時間閉店となる。買物中に照明が消えてびっくり。（川）

春 先に農家から甘夏を購入し、ママレード作りを手伝いました。包丁で四つに割って皮をむいた後、ムッキー

編集後記

で取り出した実と細かく刻んだ皮を鍋に。砂糖とレモン汁を加えてコトコト煮ると出来上がりました。（敏）

JAFSには、強烈な設立理念があると感じます。創業者キリスト者としての生き方を通して「『隣人愛』に生きる」です。それは「与えられるよりは、与える」「仕えられるよりは、仕える」。これです。（柳）

現在 在滞米中。当地のスシ人気は高くどこのスーパーでも見かける。日本人には驚くほどまずいスシ店(日本人経営ではない)でも客で大賑わい。スシと呼べないような代物を食べて「スシ大好き」と言われてもなあ。（和）



▲環境フォーラムでの日比交流。SNSの時代でも手書きのお手紙が一番心温まる!? = 2月22日、フィリピン、アンティケ州パンダン町、セントラルスクール。18頁に報告記事

▶表紙の写真 洪水で橋が流され道路が寸断された山奥の孤立集落には車が入れない。久々の支援物資を届けたモトクロスライダーのバイクに乗る村の子 = 1月27日、インドネシア、アチェ州ベネルメリア県。4～6頁に特集記事

募金にご協力をお願いします

アジアの安全な飲料水がない地域で
貧困に苦しむ人たちを支援する活動に使われます

郵便振替 00960-6-10835 アジア協会アジア友の会



編集・発行：公益社団法人 アジア協会アジア友の会 (J A F S)

〒543-0012 大阪市天王寺区空堀町6-12

☎ 06-6444-0587 FAX 06-6444-0581 E-mail asia@jafs.or.jp

URL : <https://jafs.or.jp> Facebook: <https://www.facebook.com/JAFS.NGO/>



2026年4月 165号 発行人：篠原勝弘

広報企画委員長：法花敏郎 副委員長：柳井一朗

編集スタッフ：大本和子、岡本佳子、柿島 裕、川本裕子、藤澤幸二郎

印刷・製本：あさひ高速印刷株式会社



HPもご覧ください